

ROTOBO

Connecting Markets

## ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2025年(令和7年)10月5日号 No.2003

## 目次

■ 2025年上半期のロシア港湾の貨物量	1
■ 統計速報	8
2025年1～7月のロシアの貿易	8
■ キーパーソン	9
カザフスタン外相らが交代	9
ロシア北西連邦管区大統領全権代表が交代	11
■ エトセトラ	11
アルメニア・ワイナリー視察ミッション参加者募集	11
■ トピックス	12
日本旅行、キルギス政府機関と観光振興覚書を締結	12
モルドバ議会選、与党が過半数を得票	12
ロシア、ガソリン禁輸を年末まで延長	12

## 2025年上半期のロシア港湾の貨物量

## 解説

ロシア港湾の取扱貨物量の2025年上半期の実績を入手したので、本号では、早速このデータを図表にまとめてお届けする。

2025年上半期のロシア港湾の取扱貨物量は4億2,520万tで、前年同期と比べ5.4%減少した。このうち、ドライカーゴは2億436万tで7.4%、液体カーゴは2億2,085万tで3.5%それぞれ減少した。

取扱貨物量は、ウクライナへの軍事侵攻で西側諸国からの制裁を受ける中でも、中国やインド、トルコなど「グローバル・サウス」と呼ばれる新興国や途上国への輸出拡大により増加傾向を維持してきた。しかし、2024年には、軍事侵攻開始後初めて前年を下回り、2025年はその減少幅がさらに拡大している。四半期別にみると、第1四半期は、前年同期と比べた落ち込み率が5.6%、第2四半期が5.2%となり、2期連続のマイナスとなった。

ロシア経済は軍需生産が牽引する形で、高い成長率を続けてきたが、2024年後半以降、物価上昇の継続や高金利による消費マインドの低下などが影響し、好調だった景気に急ブレーキがかかっている。2025年上半期の経済成長率は1.2%のプラスにとどまり、前年の4.3%から大きく減速した。

ドライカーゴでは、穀物が1,644万tで前年同期比56.4%の大幅な減少となった。木材は86万tで4.4%減、コンテナは2,730万tで1.3%減、RORO貨物は151万tで23.8%減、冷凍・冷蔵貨物は130万tで3.4%減だった。